

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	食生活改善推進会補助金		
担当所属	健康づくり課	連絡先	092-332-2069

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規等	なし		
基本目標	基本目標1__みんなが健康で元気なまちづくり		
政策	政策1__保健・医療の充実		
施策	施策②__市民協働の健康づくりを推進する		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】 一定の研修受講者で構成された住民組織による食生活改善推進に向けた活動の一部を補助することにより、市民の健康づくりのための自助・共助力の向上並びに食生活改善及び生活習慣病予防の強化を図る。</p> <p>【対象事業】 栄養・食生活に関する知識及び技術の普及事業</p> <p>【対象者】 食生活改善推進会</p>	<p>① 市事業や地域事業への協力回数</p> <p>② 会員の研修会参加者数</p>

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
会の活動内容を精査し、市民の食生活改善に向けた活動に対しては補助を継続し、市民の健康づくりにおける「共助」の核となってもらおう。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 回／年	113	100
	② 人／年	264	250

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	347,700	347,700

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題
昭和30年代に保健所で行われた栄養教室をきっかけに全国的な組織として拡大していったボランティア団体である。地域住民の健康を食の視点からサポートする活動を積極的に行っている。
現状の周辺環境・課題
食生活改善推進会の特徴は、市が実施する研修の受講者で構成されたボランティア団体である。地域活動に関する考えやライフスタイルの多様化などから新規加入者は減少傾向で、会員の高齢化が進んでいる。一方、地域を支える団体（人材）としての期待も大きく活動の場は広がっているため、活動の継続を支援していく必要がある。
今後の予想される周辺環境・課題
会員の高齢化による事業の縮小や廃止。行政が主催する研修の受講生であるため、市の意向を踏まえた地域活動を行っているボランティア団体は多くないので、活動の後方支援は必要である。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等
地域共生社会の実現には、地域で活躍する人材を増やしていく必要があるが、なり手がいないという問題がある。積極的にボランティア活動を行う食進会に対しての支援が必要である。